

新型コロナウイルス感染拡大防止と学生支援

※記事は7月末時点の情報を元に作成しています

学生の健康と安全を最優先に 新しい教育・学生生活環境の構築を目指す

2月初旬から新型コロナウイルスの影響が世界的に深刻さを増し、わが国においても4月7日、7都府県に対し緊急事態宣言が発出された。宣言は5月25日に解除されたが、その後もコロナ禍における自粛ムードが続いている。未だ事態の収束が見えない中、本学では教職員一同、学内における感染拡大防止と学生支援に全力であたっている。これまでの対応をまとめた。



学修支援センターでは感染対策を施しながら新入生の相談に対応

新緑に囲まれ、多彩な花が咲き誇る春の宮代キャンパス。例年、多くの学生が行き交い、活気にあふれる時期である。しかし今年は本学の学修環境、学生生活が大きく様変わりした。大きな不安が社会を覆う中、本学は学生の健康と安全を第一に考え、教育機会の損失を極力避けるよう尽力している。併せて保護者、学外関係者、地域住民の皆さんに安心していただけるよう、適切な対応と情報発信に努めている。

感染拡大防止を徹底

感染拡大が深刻さを増すにつれ、世間では「3密の回避」「ソーシャルディスタンスの確保」が常識となり、「自粛」「制限」へと流れが変わっていった。そうした社会の状況に合わせて本学も適切に

遠隔授業だからこそ身につく主体的な学び

学長 成田 健一

1918年のスペイン風邪以来といわれる感染症パンデミック。大学もこの経験のないCOVID-19対応に全力で取り組んできました。一方、新入生の皆さんにとっては入学式中止、授業開始の延期と、日々変わり続ける社会情勢の中に身を委ねざるを得ない状況になりました。

その中、大学は皆さんの安全を担保するため、5月11日からTeams等を使った遠隔授業を開始しました。短い準備期間にもかかわらず、本学の先生方は、学生一人ひとりに配慮した教材作成に注力し、充実した学習内容の提供を実現しました。ただ、新入生の皆さんにとっては、入学後一度も会ったことがない先生や同級生たちとオンラインで授業に臨むというのは、色々な意味で戸惑いや不安があったことと思います。本学は「実工学」を標榜し、体験的授業の

学も適切に

学修、経済、就活、心身に 関わる支援

新学期早々の休校措置は特に新入生への影響が大きい。オリエンテーションやフレッシュマンキャンプといった入学直後の交流機会が失われ、多くの学生が不安を抱いている。

このほか、授業の履修登録・申告の方法、奨学金申請方法や学生生活ガイダンスについても動画で説明を行った。

4月8日以降、本学は「休校措置」を講じ、6月14日までの期間はキャンパス内への学生の入構を禁止した。教職員の入構は正門のみに制限し、守衛所にて入構記録を残すよう義務付けた。事務局の勤務体制は在宅勤務を原則とし、各部署は必要最小限の人数による交代勤務にて業務を遂行。会議はオンラインでの実施を推奨した。



在学生・新入生に向けた履修登録の説明画面

このほか、授業の履修登録・申告の方法、奨学金申請方法や学生生活ガイダンスについても動画で説明を行った。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための主な対応	
全般	海外渡航、感染拡大防止のための注意喚起 在学生、新入生への学長メッセージ動画配信 緊急奨学金給付(学生1人あたり5万円)
経済支援	2020年度春学期学費等の納入期限延長 文部科学省/日本工業大学工友会「学生支援緊急給付金」案内 高等教育修学支援制度「家計急変」案内 日本学生支援機構奨学金 在学採用(新規申込み)案内
学修関連	令和2年度春学期授業開始日の延期 教科書のオンライン販売 春学期オリエンテーション、フレッシュマンキャンプ等の中止 履修登録説明、奨学金申請、学生生活ガイダンスの動画配信 遠隔授業開始(5/11)、対面授業一部再開(6/15)
就職支援	学内合同企業説明会(4月)の開催中止 保護者のための就職ガイダンス(5月)の開催中止 学科担当者によるオンライン面談の実施 企業によるWEB説明会・面接等のための個人学習室貸出 学位記授与式の式典中止、学科別の学位記配布に縮小
行事変更	入学式の開催中止 地域別教育懇談会中止、後援会定期総会を书面審議に変更 6/6・7/11オープンキャンパス 来場型からWEB型に変更
心身	健康管理センター・学生相談室より心身のケアに関する情報発信 学修支援センターで一人暮らしの新入生対象の相談受付 学生相談室の情報誌「SCR Press」の発行
施設閉鎖	キャンパス内への学生の入構禁止 正門以外閉鎖、教職員入構記録、学外業者等事前登録を義務付け 工業技術博物館、LCセンター、食堂等の休館
教職員	職員在宅勤務・テレワークの推進 不要不急の会議の中止、オンライン会議への変更

新しい教育、学生生活環境 を目指して

国内における感染状況は未だに収束の兆しが見えない。秋以降の感染再拡大も懸念されており、予断を許さない状況は続いている。

今後の学事・行事日程
秋学期以降の授業計画や行事日程については概ね例年通りの実施を予定している。不要不急、実施困難と判断した行事については延期または中止とする可能性がある。

迅速で適切な情報発信
授業日程や行事等の変更や中止、関連情報提供については引き続き公式



食堂では座席ごとに仕切り板を設置 エレベーター内の立ち位置表示

本学はこの半年間、コロナ禍における教育や学生支援の在り方を模索してきたが、現在のごころは大きなトランプルもなく、必要な対応ができていく。これは学内外全ての関係者の協力によるものであり、感謝を申し上げます。今後も教職員一同、気を緩めることなく状況に応じて適切な対応を続けていく。



環境コミュニケーション(2019年12月)

本学では、2018年「自己宣言」NIT-EMS 6月1日を起点として、「S」(日本工業大学環境マネジメントシステム)を立ち上げ、活動を行ってきた。今までの環境活動を継承しつつ、大学本来の事業に添う、より進化したEMSを追求し活動を行っている。ここでは自己宣言後1

年間の主な内容について報告を行う。

■環境教育 毎年恒例となっている「環境特別講演」に加え、12月と1月に本学ものづくり環境学科の授業の一環として、「環境コミュニケーション」(埼玉県主催)を開催。パイオニア川越事業所、埼玉県大気環境課、学生延べ約80名が参加し、社会貢献活動や環境保護活動の事例紹介を基に意見交換を行った。

■低炭素社会への貢献

大学独自の環境推進活動を追求

NIT-EMS2019環境マネジメント活動報告



エコロジープレス

①電気・ガスの省エネルギー活動を積極的に実施。埼玉県地球温暖化推進条例の削減目標15%に対し、電気は基準年比18.3%削減と目標を達成しているもの、ガスは15.7%増加で未達成となった。ここ数年の開学50周年記念建設事業や新学科の施設整備事業に伴う建物の増築による使用量の増加が、主要因である。現在、基準となるCO2排出量を埼玉県と調整し、目標値を見直し中である。

②LCセンター(図書館)の照明をLED化し、約65%の省エネを実施。

③BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)の拡充を図るため、10年が経過した既存の中央監視装置の更新工事を開始。

右記の主な活動以外の詳細については、本学HPをご覧ください。



ライブ配信された全体説明動画

本学では、次世代を担う優れた人材の育成・教育の場としてより良いキャンパス環境を構築するとともに、将来にわたる持続可能性を実現するために、全学一致した協力のもと高い目標を掲げ、EMSを推進している。これに向け、マニュアル規格等を改め、システムの新構築を進めて行く。

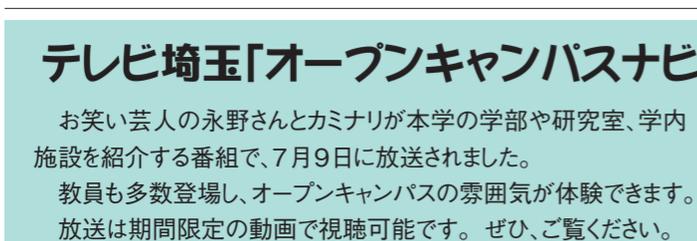
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、6月6日、7月11日に予定されていた通常(来場)型オープンキャンパスが中止となり、動画による情報発信に形を変えて実施された。

当日は朝10時より、YouTubeのライブ配信サービスを通じて動画が放送された。成田学長は参加高校生に向けてメッセージの中で「学生が実際に使用できるものづくりや実験のための施設・

テレビ埼玉「オープンキャンパスナビ」放送

お笑い芸人の永野さんとカミナリが本学の学部や研究室、学内施設を紹介する番組で、7月9日に放送されました。教員も多数登場し、オープンキャンパスの雰囲気が体験できます。放送は期間限定の動画で視聴可能です。ぜひ、ご覧ください。

WEBオープンキャンパス開催

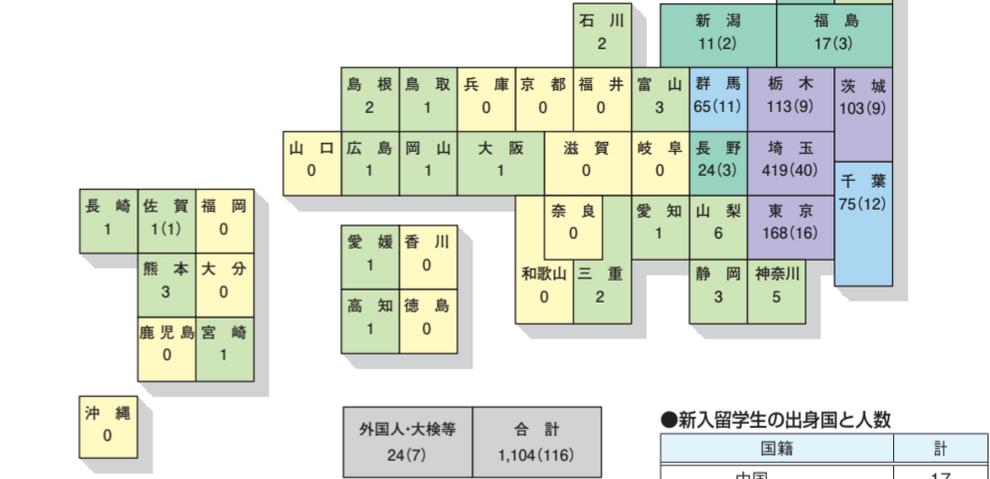


オンライン個別進学相談

新入生の出身地マップ

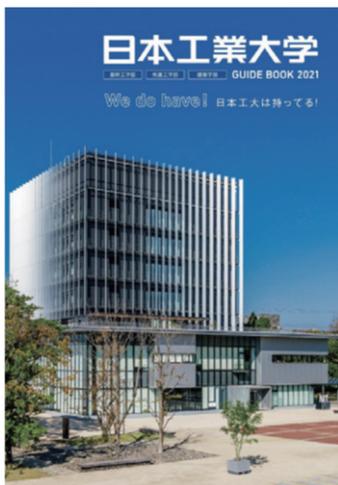
33都道府県から1,104名が入学

2020年度都道府県別入学者数がまとまった。総入学者数は1,104名(入学定員は1,000名)、うち女子学生は116名である。都道府県別入学者数は、昨年に続き埼玉がトップで419名。次いで東京が168名、栃木113名、茨城103名、千葉75名がベスト5。入学者は、全国33都道府県から集まっている。



(凡例) 入学者総数(女子) 0人 1~9人 10~49人 50~99人 100人~

※編入学生、および秋季入学者の数は含まない



大学案内

2021年度新入試の概要や主な変更点は左記のとおり(詳細は受験ガイド、各募集要項を参照)。

◆入試名称の変更
大学入学者選抜に係る新たなルールに基づき、新しい入試区分に対応すべく、4つの入試名称を変更した(特別選抜入試・共通テスト利用入試)。

◆入試の流れを変更
特別選抜入試、専門高入試(S工業科)、総合型選抜入試において、出願前の「申込み」「エントリー」が無くなり、出願、面接、合格発表の流れとなる。

◆大学入学共通テストの利用

共通テスト利用入試では、大学入学共通テストを活用する。教科は数学・理科・外国語(英語)の3教科とし、配点は各教科200点、合計600点で評価する。

◆一般選抜入試の試験範囲変更
一般選抜入試の数学では、数学Ⅱを含む問題を導入する。数学Ⅲを含む問題と含まない問題のいずれかを、受験時に選択する。

◆主体的に取り組んだことの成果について
3月入試、一般推薦入試(指定校)(公募制)、専門高入試(S工業科)(A工業科)(B工業科)の6つの入試。

◆AOコーディネーター入試を廃止
AOエントリー入試は総合型選抜入試に移行し、AOコーディネーター入試は廃止とした。奨学金制度は、総合型選抜入試奨学金として引き継ぎ、成績上位者へ学科・コース2名を上限とし

英語外部試験において、本学の指定したスコアを保持していることにより出願できる。数学・理科の2科目で受験でき、英語は免除される。

◆応用化学科の一般選抜入試・共通テスト利用入試の募集人員を増加
◆学校長推薦書に学力の三要素を記載
学校長推薦書に、学力の三要素の記載欄を設ける。学校長推薦書の必要入試は、特別選抜入試、一般推薦入試(指定校)(公募制)、専門高入試(S工業科)(A工業科)(B工業科)では、課題研究への取り組みなどを問う。

は、主体的に取り組んだことの成果などを志望理由書に書き、調査書と共に面接の中で評価する。

◆質疑・応答を導入
学校推薦型選抜の面接の中で、基礎学力を把握するための質疑応答を行う。一般推薦入試(指定校)(公募制)では、「数学Ⅰ、数学A、物理基礎または化学基礎」から選択。専門高入試(S工業科)(A工業科)(B工業科)では、課題研究への取り組みなどを問う。

て、1年目の授業料半額相当(49万円)を免除する。

◆新型コロナウイルス対策
新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、遠隔面接等を行う場合もある。

試験日の朝に検温し、体調が悪い等の場合は、必ず入試室に連絡すること。各試験で別日程等を望む方は入試室まで。

◆大学案内などの資料
「2021大学案内」など、新しい冊子をご希望の方は入試室まで。

オープンキャンパス
全日程とも完全予約制です

8/22±・23日
来場型・WEB型オープンキャンパス同時開催

9/12±
2021 **3/27±**

状況により、変更する場合があります。最新情報はWEBサイトでご確認ください。

お問合せ・お申込み先: 教務部入試室
0120-250-267

※学生の学年は受賞時の学年で表記しています

彩の国さいたま ICTコンテスト受賞

1月18日開催の「彩の国さいたま ICTコンテスト2019」にて、情報メディア工学科の2チームが受賞した。



「我利便くん」というシステムが評価され、「サング」というシステムの独自性や新規性が評価され「アイデア部門(高校・専門・大学)最優秀賞」を受賞した。

日本塑性加工学会 学生奨励賞を受賞



機械システム工学専攻2年(瀧澤研究室)の児玉渉平さんが2月28日、日本塑性加工学会の「学生奨励賞」を受賞した。受賞研究名は「外接多角形を用いた降伏曲面の簡易同定法の開発」。

宮代プログラミング・ラボ 日本教育新聞社賞など受賞



2月28日、ICT夢コンテスト2019において、先進工学部情報メディア工学科の山地秀美教授、大橋裕太郎准教授らが「日本教育新聞社賞」を受賞した。受賞論文名は「小学校のプログラミング教育を支援する」

エレクトロニクス実装学会 ポスターアワードを受賞



電子情報メディア工学専攻博士前期課程2年(竹村研究室)の市川舜太さんが3月4日、第33回エレクトロニクス実装学会春季講演大会において「ポスターアワード」を受賞した。

とから、実施の難しさが指摘されている。この活動では児童だけでなく先生方もプログラミング教育の手法を学べるほか、町内のシニアとの交流も深められ、地域での新たなつながりが期待できる。こうした例は全国的にも珍しく、先進

的な事例として高く評価された。また大橋准教授は3月29日、第8回情報と教育技術に関する国際会議(ICIET2020)において、プログラミング・ラボ活動の運営や評価手法についての研究結果をオンラインで発表。

高齢化と小学校におけるプログラミング教育という、異なる問題の解決を同時に目指している点が高く評価され、「ベストプレゼンテーション」を受賞した。受賞論文名は「シニアによるシニアのためのプログラミング講座の開発」。

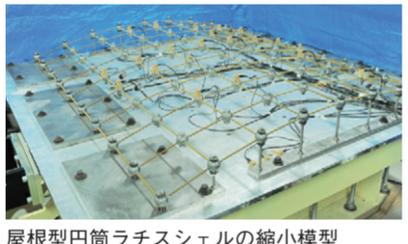
文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞

基幹工学部応用化学科内田祐一教授が4月14日、文部科学省選考による「科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)」を受賞。賞状とメダルが授与された。受賞論文名は「環境調和型高品質ステンレス鋼溶製プロセスの開発」。



奥山悟郎氏、小笠原太氏との共同受賞となる。従来のステンレス鋼生産では電力を大量に消費し、環境負荷が高いという課題があった。

日本建築学会 奨励賞を受賞



建築学科の箕輪健一准教授が4月17日、日本建築学会の「2020年日本建築学会奨励賞」を受賞した。受賞論文名は「屋根型円筒ラチスシェルを対象としたシステムを期待する」。

震災時などに避難場所としても用いられる施設には、体育館やドームのような大空間を有する建築物も多いラチスシェルという屋根の構造を対象とする方法を提案。少ないセンサーや駆動装置でも、配置する位置や測定データを解析することにより高い効果が得られることを、振動実験により実証した。今後、地震の被害を低減させる手法として活用されることが期待される。

一般社団法人日本工業大学工友会定時総会 書面審議により予算案など承認

新型コロナウイルスの影響を受け、感染拡大の影響を受け、本年度の一般社団法人日本工業大学工友会定時総会は、6月13日に書面審議で行われた。

NIITクリエイティブ株主総会 再任された原社長が決意表明

NIITクリエイティブの第53期定時株主総会が5月30日に開催された。原隆之社長による当期の事業経過と決算内容に関する報告は、質疑応答を経て満場一致で承認された。

英語学修イベント「ELCチャレンジ」開催



4月17日～5月10日、英語教育センターにおいて、英語学修イベント「ELCチャレンジ」が開催された。

参加学生は「英語による自己紹介ビデオの作成」「英語による日記のライティング」のいずれかに応募。その中でセンターが特に優秀だと判断した作品を選考・表彰し、6月17日に授賞セレモニーを行った。

- 最優秀賞：涌井 歩さん (基幹工学部機械工学科2年)
- 優秀賞：鯉淵 咲大さん (建築学部建築学科生活環境デザインコース3年)
- 特別賞：宮古 菜々さん (先進工学部ロボティクス学科1年)

学校法人のWEBサイトを開設

学園紹介や沿革、公開情報などを掲載

<https://scfo.nit.jp/>

研究室紹介のTV番組を放送中

テレビ埼玉「みらいウォッチ」

7月11日～9月26日(全12回) 毎週土曜日 17:55～18:00

※放送日時に変更になる場合があります

国外出張

【日程変更】23号掲載より変更

- ◆鈴木宏典教授(ロボティクス学科)出張先(フランス) 8/26～8/31(目的)
- ◆第2回ヒューマンインタラクションと新創成技術・人工知能国際会議での研究発表

人事異動

【任命】(4月1日付)

- ◆教務部長補佐 木許雅則准教授
- ◆学園情報システム部長 補佐 橋浦弘明准教授
- ◆インテリアデザインラボ主任 葛西幸一助手

町より 宮代 225号

「#みやしろまち」でツイートしませんか?

学生のみなさん、宮代町の公式ツイッターを存じますか。公式ツイッターでは、町の観光情報や暮らしの情報、四季折々の風景や学校給食のメニューなどを発信しています。

町や日本工業大学のいいところを広めたい!そんな思いを「#みやしろまち」をつけてつぶやいてみませんか?ハッシュタグがついたツイートを町がリツイートします。

学生ならではの視点で、新しい町の魅力を、動画や写真で紹介してみよう!

◆施設環境管理課長 田中大介

◆財務課長 鈴木史朗

◆教務課長 穴井正洋

◆就職支援課長 塩入修

◆教育研究推進室課長 川島信也

◆総務部付課長 柳澤孝

◆総務部付助手 吉岡亨

◆入試室課長補佐 江原慎一

◆財務課主事 山本好央

◆就職支援課主事 初見範子

◆NIIT EIMS 本部長 雨宮隆寛准教授

◆NIIT EIMS 本部長 務局長 原渡(7月1日付)

◆人と暮らしの支援工学科 センター長 山地秀美

◆理工学教育(STEM) センター長 佐藤彰弥

◆配置換(4月1日付)

- ◆水谷耕平財務課職員
- ◆企画広報室に異動
- ◆龍山雄太学生支援課職員
- ◆教務課に異動